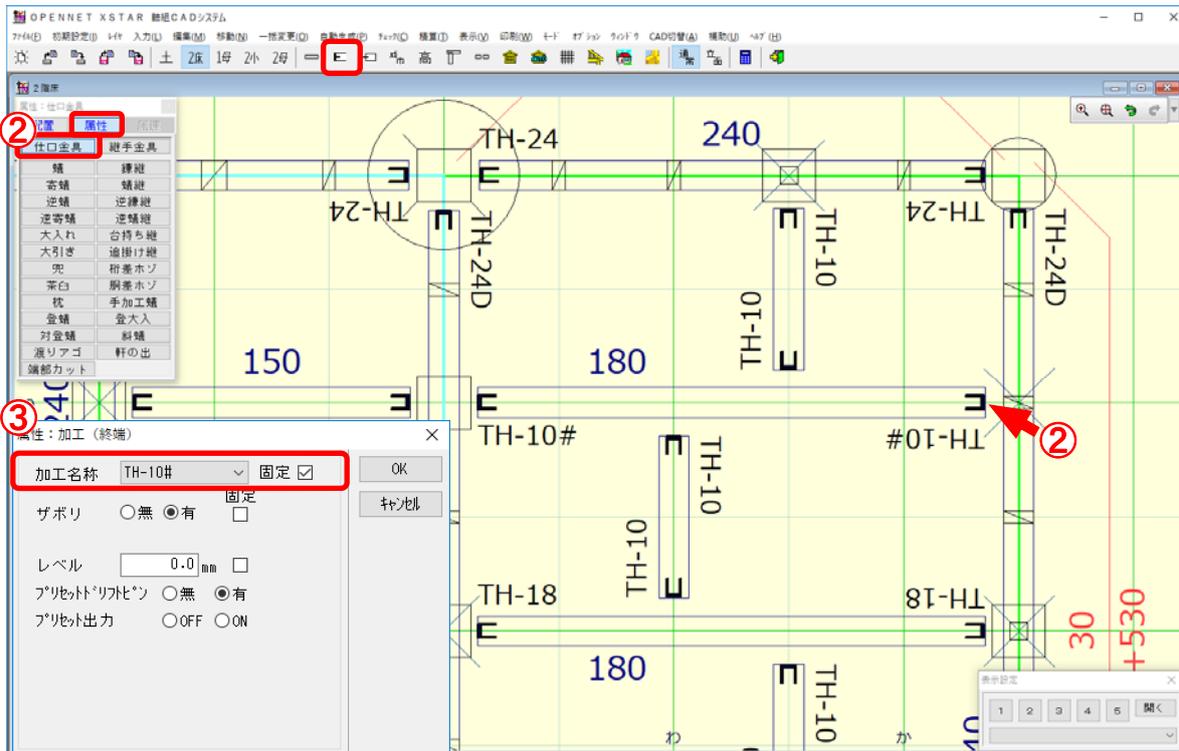


金物生成の機能アップ



金物の取付可能となる材の材成範囲を緩和しました。

設計者判断で決定された金物もCADでの入力が可能となります。

- ① [入力]-[金具]を選択するか、「E」をクリックし、「属性：仕口金具」を選択します。
- ② 金物を変更する仕口の端部をクリックします。
- ③ 「属性：加工」の画面が開きます。

「加工名称」で使用する金物を選択し、固定にチェックをつけます。

※ 金物の末尾に「#」が付いている金物が今回追加になった金物です。

テックワンの場合、梁成 180 であれば通常は「TH-18」を取り付けますが、TH-10（標準の材成から外れた金物）を取り付けたい場合は、「#」が付いた金物を手動で選択します。



加工生成実行後、「#」付の金物が入力されている箇所には、警告メッセージが表示されます。

警告メッセージ：「選択された金物の材成が標準の材成から外れています。」

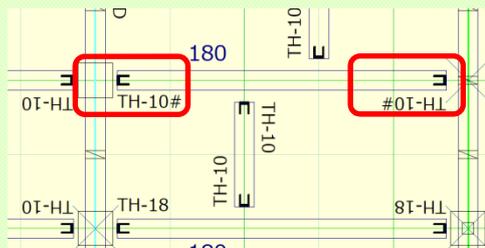
## 金物生成の機能アップ



## ■「#」付の金物（標準の材成から外れた金物）について

## &lt;伏図表記&gt;

「#」付の金物名称で表示されます。



## &lt;積算&gt;

通常 of 金物名称で積算されます。

例) 「TH-10#」は「TH-10」で積算されます。

## &lt;加工&gt;

通常 of 金物と同様の加工となります。

例) 「TH-10#」は「TH-10」で加工されます。